

野良猫と共生不妊に力

全国的な猫ブームの裏で、飼い猫の遺棄や増えすぎた野良猫の殺処分が後を絶たない。そんな中、福井市と県獣医師会、NPO法人「福井犬猫を救う会」の三者は、野良猫の不妊手術に対する助成や協力に力を注いでいる。六月一日からは市内に十ある協力病院で、野良猫の不妊手術の助成手続きが可能になった。

(藤共生)

増えすぎた野良猫の対策として近年、不妊手術をしてこれ以上の繁殖を食い止める、地域で餌をやる「地域猫」活動が全国的に注目されている。ただし、県内での猫一匹あたりの手術費用は平均で二万円前後。殺処分される野良猫をふびんに思っても、なかなか手が出ない値段だ。

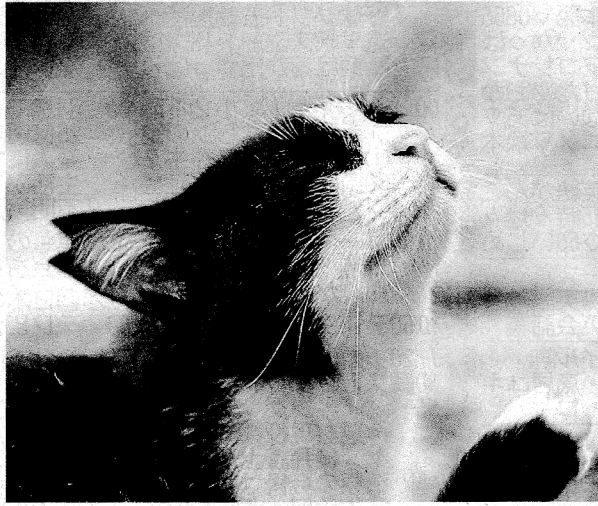
野良猫に困ったり、心を寄せる人が、猫に手術を受けさせたいと思った時、手術費の一部を市が負担し、捕獲や運搬などを救う会が手助けするというもの。あくまで主役は思い立った住民というスタンスだ。

二年前からは県獣医師会がこの事業に賛同。福井市内にある動物病院が協力し、野良猫の場合に限って通常の手術費よりも安い値段で手術をしている。手術済みの猫は、右耳の一部をカットして目印にする。六月一日からはそれまで救う会を通して行ってきた助成申請を、病院でできるようになった。

手術費は一般の飼い猫の半額近いメス一万二千元、オス九千元。これに加えて福井市はメス七千元、オス五千円の助成金を出す。申請者は実質、メス五千元、オス四千円の負担で、手術を受けさせることができる。対象は、野良猫と同じ福井市内の居住地域に住み、手術後に餌やふん尿の管理ができる人。

福井市の助成は一年で上限七十二万円で、県獣医師会が定めた手術費も二〇一七年度以降は未定という。県獣医師会では「いずれは全県に広げていきたい」と話し、救う会の藤永隆一代表も「今後はほかの市町にも呼び掛けていきたい」と話していた。

問い合わせは、手術と助成に関しては県獣医師会 電話0776(28)1244へ。捕獲と餌やりに関しては福井犬猫を救う会 電話070(5631)7080へ。



不妊手術を受けた野良猫。右耳の一部をカットして、目印とする＝ついでに基金提供

手術費助成手続き

10病院でOK